Ver2.0

ボンベセット交換説明書
膨脹式ライフジャケット メンテナンス ブック

ライフジャケットを洗いましょう！

東洋物産株式会社
営業４部 ２グループ
〒166-0012
東京都杉並区和田 3-53-14
TEL.03-3312-1471　FAX.03-3312-1560
http://www.toyo-bussan.co.jp

膨脹式ライフジャケットはスプール（水感知センサー）の経年劣化により、まれに自然膨脹を起こしたり、水没しても自動膨脹まで時間がかかることがあります。
また、知らないうちに気室に穴が開いていたりすると万が一の場合、大変危険です。
お客様の安全ため、１年に１度程度、下記のメンテナンス実施をお願い致します。

1　ライフジャケットを洗いましょう！・・・P2
パーツをはずすことで水洗いができます。

2　乾燥させながら気密検査をしましょう！・・・P3
気室エア漏れが確認できます。

3　スプール（水感知センサー）を交換しましょう！・・・P4
安定した自動膨脹機能を維持します。

4　外観点検しながら収納しましょう！
ほつれや破損を確認できます。
首かけタイプ・・・P5
ベルトタイプ・・・P6

1　ライフジャケットを洗いましょう！

①マジックテープをはずし、気室布を露出させます。
膨張装置カバーをはずし、膨張装置を露出させます。

装置カバー付

②ボンベをはずします。

③スプールキャップをはずし、スプールを取り出します。
これで自動膨張はしません。

④水道水をバケツに溜め、本体の汚れを落とします。

給気チューブのキャップを必ず締めてください。

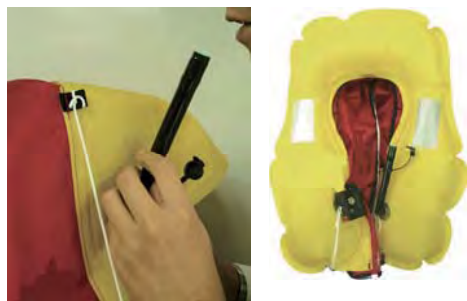
⑤汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を、スポンジで軽くこすって下さい。

⑥気室布・膨張装置もスポンジで軽くこすって下さい。

⑦洗い終わったら、水道水で良くすすいで下さい。

⑧特に膨張装置は、良くすすいで下さい。また、本体を振って装置内の水気を切ってください

2 乾燥させながら気密検査をしましょう！

①給気チューブから気室がパンパンになるまで息を吹き込みます。

②直射日光の当たらない、風通しの良い場所で乾燥させて下さい。

③1～8時間放置後、手で押して気圧を確認をします。

④減っている場合は、再度空気を吹き込み水没検査を行ってください。

⑤気室から気泡が発生しなければ問題ありません。
もし気泡が発生する場合は空気漏れを起こしていますので、直ちに使用を中止してメーカー点検を受けてください。

⑥乾燥したら空気を抜きます。
給気チューブキャップのつばの部分をチューブに差し込むと、逆止弁が押されエアーが排気できます。
注意！尖ったものを差し込まないでください。

⑦製品を丸めて最後までエアーを抜いてください。

⑧逆止弁に異常が無いことを確認し、キャップをしめて気室を外装布に収納します。

3　パーツを交換しましょう！

①完全に乾いていること、空気が抜けている事を確認してください。

②特に膨張装置内は念入りに水滴を取ってください。

③引き手が下がっている時は、上に戻してください。

④安全ピンを差し込んでください。
注意！
安全ピンの先を折らないように差し込んででください。

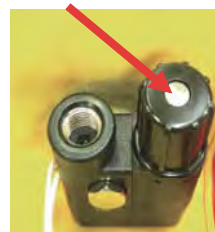
⑤新しいスプールをセットします。スプールカバーを押し込みながら、右にまわして止まるまでねじ込みます。
（スプールの上下は関係ありません。）

○

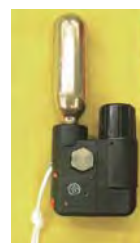
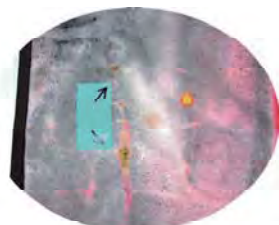
×

⑥スプールキャップに隙間が無い事を確認！

⑦ねじ込んだ後、伝動軸が上がっていることを確認！

○　×

⑧新品のボンベを右にまわし、しっかりとねじ込んで装着します。
ボンベに穴が開いていない事を確認！

○　×

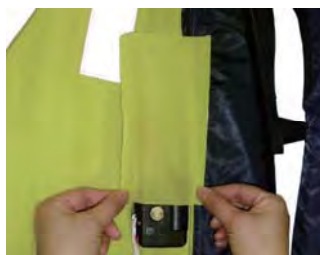
⑨完成

4 外観点検しながら収納しましょう！

気室布が破損していませんか。

ベルトが破損していませんか。

バックルが破損していませんか。

縫い糸がほつれたり切れていませんか。

首掛けタイプ収納方法

①スプール及びボンベ・安全ピンの再セットを確認してから、膨張装置に保護カバーを被せます。(保護カバー無い機種もあります。)

②気室の側面を表側に３つ折りし、面ファスナーで仮止めします。

③気室の角を斜めに折り込みます。

④側面を閉じます。(反対側も②～③と同様に行います。)

⑤本体を裏にして、上側気室を斜めに折り、三角形を作って下さ

⑥三角形を二つ折りにします。

⑦面ファスナーを閉じて下さい。

⑧引き手が出ているか確認して下さい。

⑨完成

4　外観点検しながら収納しましょう！

ベルトタイプ収納方法

①スプール及びボンベ・安全ピンの再セットを確認してから、外装布を下にして置き、気室を横半分に折ります。

②さらに、横半分に折る。

③腰ベルトと気室の縫い合わせ部で縦に折り曲げます。

④反対側の腰ベルトと気室の縫い合わせ部で縦に折ります。

⑤気室を押さえたまま、外装布で気室を覆うようにマジックテープを止めていきます。中央部から徐々に気室を収納しながら面ファスナーを止めていくと折りたたみやすくなります。

⑥引き手が出ているか確認して下さい。

⑦完成

膨脹式ライフジャケットの安全使用について

このようになっていませんか？膨脹式ライフジャケットの点検を行いましょう。

作動索が隠れていませんか。掴めるようにジャケットの中から出してください。

空気漏れはありませんか。給気チューブに息を吹き込んで確認します。

ボンベやスプールが破損していませんか。錆・傷等のないこと取り付けの状態も確認します。

気室布が破損していませんか。

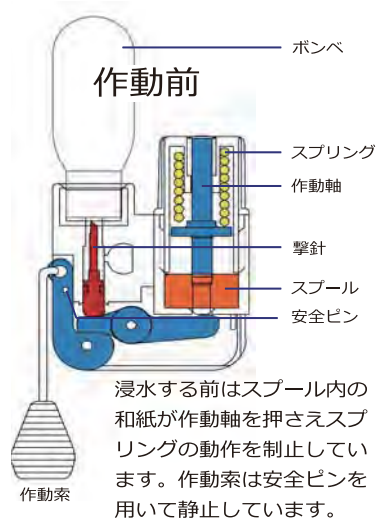
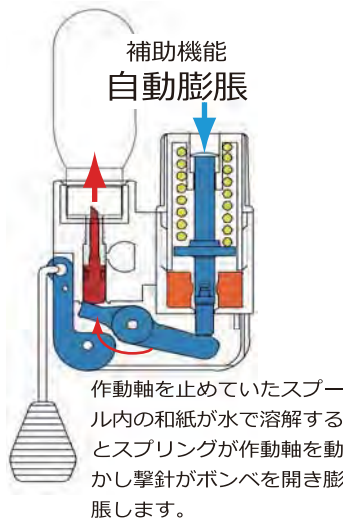
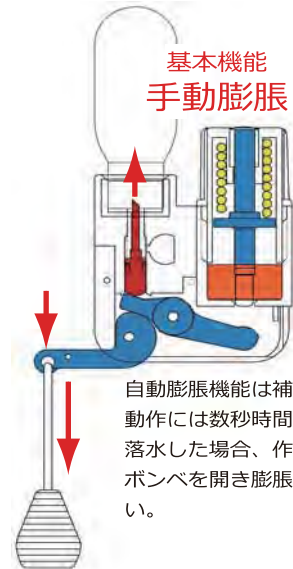
ベルトが破損していませんか。

バックルが破損していませんか。

縫い糸がほつれたり切れていませんか。

写真：小型船舶関連事業協議会「日常点検」チラシより

自動膨脹の仕組み

自動膨脹式ライフジャケットには、手動索を引き膨張する手動膨脹機能と、スプールが水分を感知して膨張させる自動膨脹機能が膨脹装置の中に二つ組み込まれております。落水時の姿勢や落ちたときの状況により、どうしても浸水するときの時間にバラツキがでますので、自動膨脹機能はあくまで補助的な機能とされております。安全を素早く確保するために落水時には、手動にて手動索を引き膨脹させてください。万が一膨脹装置が作動しない場合は、給気チューブより直接口で息を吹き込み気室を膨脹させることができます。膨脹ライフジャケットを装着する場合、手動索が隠れないようにし、手動索が手ですぐに掴むことができるよう着用時に必ず確認してください。

浸水する前はスプール内の和紙が作動軸を押さえスプリングの動作を制止しています。作動索は安全ピンを用いて静止しています。

作動軸を止めていたスプール内の和紙が水で溶解するとスプリングが作動軸を動かし撃針がボンベを開き膨脹します。

自動膨脹機能は補助機能です。動作には数秒時間がかかるため落水した場合、作動索を引き、ボンベを開き膨脹させてください。

点検・保管について

1. 購入後は付属の取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 購入後は炭酸ガスボンベ、スプール（自動膨脹作動装置）が正しく装着されていること、かつ使用済みでないこと、補助送気装置、本体、膨脹装置が壊れていないことなどの点検を行ってください。
3. お客様の安全のため、ご購入後１年に１度程度の点検、３年に１度程度のボンベ・スプールの交換をおすすめします。ご自分での点検交換方法は販売店又は弊社 HP 等にてご確認ください。
4. 大量に雨や水しぶきがかかったり、湿気等を帯びて陸上で自動膨脹することがあります。車のトランクや道具入れ等、湿気を帯びた用具と共に放置したりすることは避け、保管時はよく乾燥させ、湿気の少ない通気性のある場所で保管してください。

着用について

1. 手動膨脹させるための作動索が着用時に隠れてないか必ず確認してください。
2. ベルトの締め付けがゆるい場合、落水時にジャケットが体から抜け外れる恐れがあります。着用時はバックルのベルトを調節して体にフィットさせてください。
3. 膨脹式ライフジャケットを着用する際は、必ず一番上に着用してください。合羽などの下（内側）に着用しますと、手動索が引けず、自動でも膨脹しないことが考えられ、大変危険です。
4. 漁具、突起物、刃物、鋭利なもの、釣り針等で外装布・気室を傷めないようにご注意ください。
5. 作業中、頻繁に膨脹してしまうなどの場合は、固型式ライフジャケットなどの使用をご検討下さい。
6. 自動膨脹機能は補助機能です。自動膨脹機能が付いていても万一の落水時は手動で膨脹させることが基本です。手動で膨脹させることが出来ない方や点検等が実施できない方はお客様の安全のため固型式ライフジャケットなどの使用をご検討下さい。

東洋物産株式会社

営業４部２グループ

〒166-0012　東京都杉並区和田3-53-14

TEL：03--3312-1471　FAX：03-3312-1560

熊本工場：熊本県菊池郡大津町杉水3697

TEL：096-293-9311　FAX：096-293-9315

http://www.toyo-bussan.co.jp

メーカーメンテナンス取扱店

P2014.02　v 2.2　1000